

『介護職員による服薬介助』アンケート集計

① どの事業所に属していますか？

介護老人福祉施設 13名 介護老人保健施設 8名
訪問介護事業所 4名 デイサービス・デイケアセンター 6名
グループホーム 4名 介護療養型医療施設 4名
障害者支援施設 3名 病院 9名
その他（有料老人ホーム 5名 小規模多機能 2名 未記入1名）

② 職種を教えてください

介護職員 22名 介護支援専門員 1名 生活相談員 2名
ホームヘルパー 3名 看護師 0名 生活支援員 2名
その他（介護福祉士 1名）

③ 今回の研修はいかがでしたか？

大変よかった 30名 良かった 24名 期待したほどではなかった 3名

《感想》

- ・薬の名がわからないのもありましたが、わかりやすくて良かったです。
- ・薬の事故会社でも良くあるので、とても良かったです。又、このような研修をお願いします。
- ・薬の種類・副作用注意する点等について学ぶことが出来て良かった様に思われます。
- ・普段から薬に対しての不安があったので勉強になりました。ありがとうございました。
- ・職場で服薬介助をしています、知らないことがたくさんありました。今日、教えていただいた事は職場で情報共有し、より良い職場環境を、患者様にとって安心安全な環境を作っていきたいとおもいます。
- ・薬全般の知識がほとんどない為、大変勉強になりました。午前中の講義の中で「上司に報告」ということばを何度か話されていましたが、私の勤務先のサ高住でもケアマネ（管理者）が勝手な判断で他人の緩下剤を飲ませるという事がありました。緩下剤だから大丈夫という判断でしょうか）この上司には誰も言えない職場です。まさに、上司に報告できない職場です。
- ・薬のことが色々わかりました。特に一包化については、すぐ職場へ戻って活かしていきたいと思います。
- ・日常深く考えず介助をしていたが、一つ一つ理解し介助していないと、問題の発見ができず、高齢者に対し危険な事になってしまう事を再度考えなおした。
- ・現場の話が多く、ためになりました。

- ・薬の効果や服用の方法、介護職が注意すべき点などたくさんの役立つ内容を学ぶことが出来ました。今後の業務の中で活かしていきたいと思います。
- ・服薬介助方法等、薬の種類、良く理解できました。貴重な時間をありがとうございました。
- ・介護士でも一般知識で知っていたら、ある程度の対応が出来る。
- ・薬の効果と危険について学ぶことができました。また、糖尿病の症状について写真を見せて頂きありがとうございました。
- ・これから職場の特養で活かすためのヒントがたくさんあった。とても勉強になった。
- ・「バイタルチェックは介護職員の仕事」、この言葉が響きました。この言葉の意味を念頭に役割を果たしていきたい。
- ・薬の知識は今まであまり意識していなかったが、これからは、少しずつでも勉強していきたい。
- ・介護士が出来る事、出来ない事。薬の作用、副作用等、知識を得ることが出来ました。
- ・午前中の資料配布が遅すぎ、内容が全く分からなかった。本を資料として使用するのなら購入しても良いので、はじめから本を準備して欲しかった。服薬介助に対し具体的な話があるかと思ったが基本的な話が多かった。
- ・薬剤師さんと薬のことでコミュニケーションがとれそうです。
- ・薬の効果がいかに大切かがわかった。
- ・改めて、薬の作用が、大切だとわかった。今後はただ薬を服薬させるのではなく、服薬したら気を付けていきたい。
- ・服薬介助は、ルーティンワークとして毎日行っているが用法等についてはあまり詳しく把握できていなかった。職場に看護師がいるので、頼り切っていたが、やはり介護職にも最低限の知識が必要だと思った。大変勉強になりました。
- ・説明の内容が資料にない為、話しを聞いただけではよく分からない。記入に時間がとられて、説明を聞く時間がない。参考書を購入する事を前提に、参加者を募集された方がよかった？
- ・簡潔で例えもわかりやすく、参加してよかったです。
- ・スライドされたレジュメは全て欲しいです。ノートに書いても書き残しがあり、まとめてレポートして施設に報告しにくいです。
- ・薬は服用してもらっただけで、深く考えていなかった。(誤薬さえしなければ良いと思っていた)が、薬剤師を現場に関わってもらえるように上司に話してみようと思う。
- ・早口すぎて少し聞き取りづらい部分があったこと。
- ・スライドが早く切り換わる場面が多かったことが残念でした。
- ・服薬の介助が利用者の生命やADLに影響する重要な業務である事を詳しく教えていただき、さらに気を引き締めて取り組まなければならないと感じました。
- ・後半の利用者さんごとの具体例はとても参考になりました。

- ・ヤクタイ（薬袋）、キョヤク（拒薬）？ところどころ初めて聞く言葉がありました。先生は日頃から使っておられるのでしょうか、かみ砕いて話していただけるとありがたいです。
- ・午後の講義の前に午前の資料を配られましたが、先に欲しかったです。
- ・机がガタガタするので、字を書く時隣の方に迷惑をかけたように思います。
- ・現在も実際に薬を食事に混ぜて飲んでもらっていることがあります。一度、薬剤師に相談してみようと思います。色々な知識を学ぶことが出来ました。
- ・薬に関する知識が現場で実践できそうです。
- ・服薬介助は、とても怖いと思いながら行っていました。（利用者の人数が多い分、間違えたらいけないので）今日のような知識は今後、とても役に立つものでした。重要な所をよく頭に入れていきたいと思いました。
- ・内容が少し難しかった為、現場寄りの内容があると良かった。
- ・改めて薬の怖さを知ることが出来た。
- ・薬剤師の先生の研修は初めてでしたが、とても勉強になりました。“薬のことは薬剤師に聞く”内服の大切さ、療養管理指導の症例から薬剤師の重要な役割が少し理解できたように思います。
- ・薬剤師の方のお話を聞くのが初めてで、大変勉強になりました。
- ・薬の知識に自信がなく、服薬介助や見守りの時は看護師や先輩介護職員に言われることをただ行っているだけだったが、今日の研修で学んだことを生かし、利用者様の立場になって薬について考えていきたいと思う。
- ・日々、服薬介助をしている中で、何気なく行っている事も色々と勉強になる事がありました。
- ・話の内容についていくのが精一杯でしたが、午後から資料を配って下さったので、とてもわかりやすく、役に立ちました。とてもためになる研修会でした。
- ・服薬介助する時、薬を落とさないか、誤薬をしていないかなどとても不安でした。今回勉強したことを活かして明日からの業務に生かしたいです。
- ・薬のことについて薬剤師の方にお話しを聞いたことはよかった。さらさらとお話をされましたが、内容は細かい所もお話して下さりよかった。間違っって薬を飲ませたこと等についても、職場環境づくり、連絡・対処法が大切だと思った。一人のせいと責めるのではなく…。介護者・利用者さんに思いやりをもつこと!!特に薬を食事に混ぜるなんて、人間扱いではないことが印象に残った。
- ・スライドと資料が合ってなく、わかりにくかった。介護が十分な観察を行い報告する。間違い、リスク発生時は早く上司に報告し、入居者に安全、その家族に安心して過ごせる環境に努めようと、改めて考えさせられた。
- ・薬剤師さんからの意見を聞かせて頂ける機会はめったに無く、介護の現場にも薬剤師さんを十分に活用していいのだという考えを持てたことは有意義であった。

- ・自分たちが違法をしていたことにびっくりでした。
- ・一番聞きたかったノロウイルス対策が聞けなかったのが残念でした。
- ・「皇潤」父親が長らく飲んでいます。残薬も両親そろってたくさんあります。利用者様の前に、まず我が家の改善からしなければと思いました。ありがとうございました。
- ・薬の服薬の大切さが良くわかり高齢者の与薬や拒否する時に、どの様に服用したらいいかを教えて頂いて、勉強になりました。
- ・薬はつぶして服用しない方が良い。
- ・午前スライドで流れたものが午後渡されたので、できれば先に配って欲しかった。手書きで記入はしていたが、スライドが早くメモとれず困ったので。